

和泉市市民活動推進支援事業実績報告書

令和 6 年 3 月 22 日

和泉市長 あて

団体名 「障害」をもつ仲間と共に歩む
和泉若者の集い実行委員会

代表者名 古宮弘典

所在地 和泉市鶴山台1-1-1

電話番号 0725-41-2250

令和 5 年 5 月 31 日付け和泉市協第 420 号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第18条の規定により、関係書類を添えて報告します。

事業名	第33回「障害」をもつ仲間とともに歩む和泉若者の集い
申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☒ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
事業費総額	246,822 円 (うち、対象経費 175,012 円)
支援金 交付決定額	115,000 円

※添付資料

- (1) 事業報告書（様式第13号）
- (2) 収支決算書（様式第14号）
- (3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

1 事業名	第33回「障害」をもつ仲間とともに歩む和泉若者の集い
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☒ テップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
3 事業内容	①事業概要（問題点、課題を解決するためにどのような事業を実施したか記入してください。） ・ 事前に参加者交流会を実施し、若つど当日に参加する予定の生徒や、社会福祉施設の利用者さんなどが参加者交流会に参加できた。参加者交流会では、自己紹介をしたり、レクリエーションの活動を通して楽しみながら互いのことを知ることができた。若つど当日に向けて、活動を深めるきっかけにすることができた。 ・ 若つど当日には出店、発表、交流の活動を通して、障害の有無に関わらず楽しくともに時間を過ごすことで、障害について考えるきっかけにするとともに、若つど以降にもつながる関係を参加者の中で育むことができた。出店では各団体工夫し、年齢や障害に関わらず誰でも参加できるゲームや内容を考えることでつながりを深めることができた。発表では、環境の中にある障害をなくすことをテーマに手話をしながら歌を歌ったり、ダンスを通して交流する場面も見られた。 ・ 事後にふりかえり会を実施し、より障害について考えるイベントにするためにどうしたらいいか、より多くの方に参加してもらうためにはどうしたらいいかを考えた。学校団体においては、各校の支援学級担当、生徒会担当、各担任、そしてかつて若つどに参加したことのある教職員に改めて参加してもらうことで活動をひろげていきたいと思っている。
②実施期間（日時）	2023年11月11日（土）
③実施場所	エコールいずみアムゼ広場
④主な対象者	和泉市内小中学校、社会福祉施設、イベントに興味関心のあるすべての人
⑤参加者数	参加者数（ 270人） スタッフ数（ 10人）
⑥告知方法	和泉市広報、和泉市内小中学校管内メール
4 事業成果（※別紙添付可）	①事業を実施したことによる目標達成状況及び得られた効果 （事業計画書に記載した目標及び効果に対する成果（実績値等）を記載してください。） 今年度は11の団体が参加し、若つどの活動を実施することができた。参加者数は事前に参加することがわかっていた各団体の170名程度に当日エコールいずみに来ていた一般の参加者数を少なく見積もって100名として算出している。この事業の目標としている「障害者への偏見、差別の解消」「障害のある子どもの進路保障」「障害の有無に関わらず、すべての人たちが自分らしく生きる地域社会の創造」については、前年度までのオンラインまたは各団体の活動と比べると、集合開催できたことで参加者一人ひとりが考える機会を与える場にすることができた。これは参加者の声や感想を聞くと明らかで、事後のふりかえり会の中で出てきた若つど後の参加者の姿を聴いても明らかである。

②参加者の声

（事業実施前）

※事業実施前には記述として記録してはありますが、運営の準備に関わるスタッフの声や、当日を迎えるまでの参加者交流会のときの参加者の様子から出ていた声を掲載します。

・2年連続で集合で開催できることがとても楽しみです。一昨年度までのオンラインや、学校ごとの活動ではできない経験を子どもたちができることを楽しみにしています。今年度は調理を含む出店ができるかたちになり、より参加者どうしが深く関わる機会にできることを期待しています。

（事業実施後）

※若つど参加後の子どもやおとなの感想を掲載します。

・若つどに参加してみて、いろいろな方たちと会って、中には障害を抱えている方もいて、その中でも小さい子どもがいて、私たちが舞台に立っている時、突然前に来てびっくりしたけど、楽しそうにしているすごく心があったまりました。障害者とか関係ない若つどを見てステキだなと感じました。

・今回の若つどで障害のある人と支え合って楽しむことができたので、すごくよかったなと思います。今まで若つどのようなイベントが少なかったのも、とてもいい経験になりました。最後の若つどのテーマソングをみんなで手話をしながら歌ったとき、みんなつながっているんだと感じて感動しました。

③反省点（事業実施にあたり、直面した課題や問題点等について記載してください。）

・運営に中心になって関わるスタッフの減少により、運営がむずかしくなっている現状がある。参加者として若つどに関わった方に、運営にも携わっていただき、今後も若つどを継続していける土台を次年度以降広げていく必要がある。

・障害への偏見や差別をどれだけ無くしていけているか、どのように計るかがむずかしい。参加者の感想などからは、若つどでの経験が障害の考え方が変わったことや関わり方が変わったことなど見てとることができるが、それが社会を変えるものになっているかは課題が残っている。学校現場や社会福祉団体を取りまく状況をどう変えていくかまで考える必要がある。

5 今後の活動について

今後の目標・事業展開について記載してください。

今後は、さらに学校団体の参加・参加者を増やし、教育の場やその周りを取りまく地域社会から障害者への偏見・差別をなくための活動にしていきたい。

（添付書類）事業内容のわかる写真4～5枚（写真は返却しません。）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称：第33回「障害」をもつ仲間とともに歩む和泉若者の集い

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠等
支援金	87,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	60,000	参加協力券
	71,810	団体ブース売上金
	11,810	事務局ブース売上金
自主財源	16,202	団体会計
合 計	246,822	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠等（数量、単価等）
報償費	2,000	手話通訳謝礼(1,000円×2名)
旅費	4,700	駐車場代（アムゼ広場駐車場300円×4名） タクシー代：信太中～アムゼ広場（3,500円）
消耗品費	16,079	カラーペーパー代（679円） 消火器代（7,700円×2本）
食糧費	983	講師弁当（455円×2名＋税73円）
印刷製本費	40,000	報告書冊子印刷代 （A4カラー13ページ 200部）
役務費	5,650	出金手数料（550円） 参加者保険代（30円×170名）
使用料及び賃借料	105,600	送迎バス1日レンタル代（2台）
その他（対象外）	71,810	金券回収費 （団体ブース売上金の返還）
合 計	246,822	
対象経費	175,012	

※費目は、別表（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

（添付書類）

- ・事業の経費に係る領収書等
- ・作成したチラシやポスター等の啓発物
- ・備品費（対象経費）において購入した備品の写真
- ・その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

予算決算比較表

団体名：「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い

支出の部

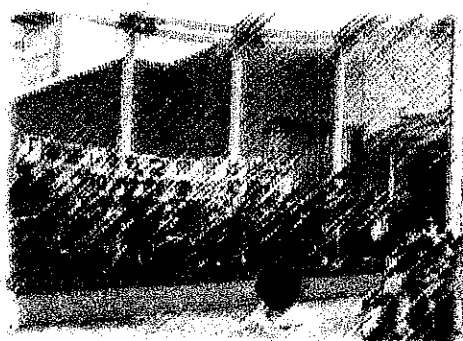
費 目	①事業費総額 予算書	②事業費総額 決算書	②－①	増減の理由
報償費	2,000	2,000	0	
旅費	0	4,700	4,700	・ 当初予定していなかった送迎バスの駐車料が発生した。 ・ 送迎バスに乗れなかった引率職員が当日急遽利用した。
消耗品費	20,000	16,079	-3,921	・ 感染対策で想定していた消毒液などが必要なくなった。
食糧費	0	983	983	・ 手話通訳の弁当を急遽当日用意した。
印刷製本費	40,000	40,000	0	
役務費	8,000	5,650	-2,350	・ 参加者数の減少により、保険代が少なくなった。
使用料及び賃借料	160,000	105,600	-54,400	・ 2 台使用したバスのうち、1 台がマイクロバスの利用になった。
対象経費	230,000	175,012	-54,988	
その他（対象外）	100,000	71,810	-28,190	・ 団体ブース売上金が減額になった。
対象外経費	100,000	71,810	-28,190	
合計	330,000	246,822	-83,178	



第 33 回

「障害」をもつ仲間と共に歩む
和泉若者の集い

報告書



もくじ

事務局長あいさつ	1
第1 ここの家	2
第2 ここの家	3
信太中学校 つばさ学級	4
信太中学校 あすなろ・にほんご学級	5
信太中学校 生徒会	6
信太中学校 ハンドメイド部	7
光明台中学校	8
石尾中学校	9
和泉中学校	10

(裏表紙) 若つどテーマソング

第 33 回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い

実行委員長 古宮弘典

みなさまにおかれましては、ますますご健勝のことお慶び申し上げます。『第 33 回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い』（以下、若つど）にご参加いただき、ありがとうございました。参加いただいた各団体のみなさま、当日参加のみなさまと共に無事、開催できたことを大変喜ばしく思っております。

さて、今回で 33 回目の開催となる若つどの目的は以下の 5 つです。

「障害」をもつ仲間とつながりをつかめあい強めていこう

「障害」をもつ仲間と楽しいひとときを過ごそう

「障害」者と共に歩む仲間の輪を広げよう

「障害」をもつ仲間の生活、教育、進路についてみんなで考えよう

その中で一人ひとりが豊かになろう

～『そして、ここから何かが始まる場』～

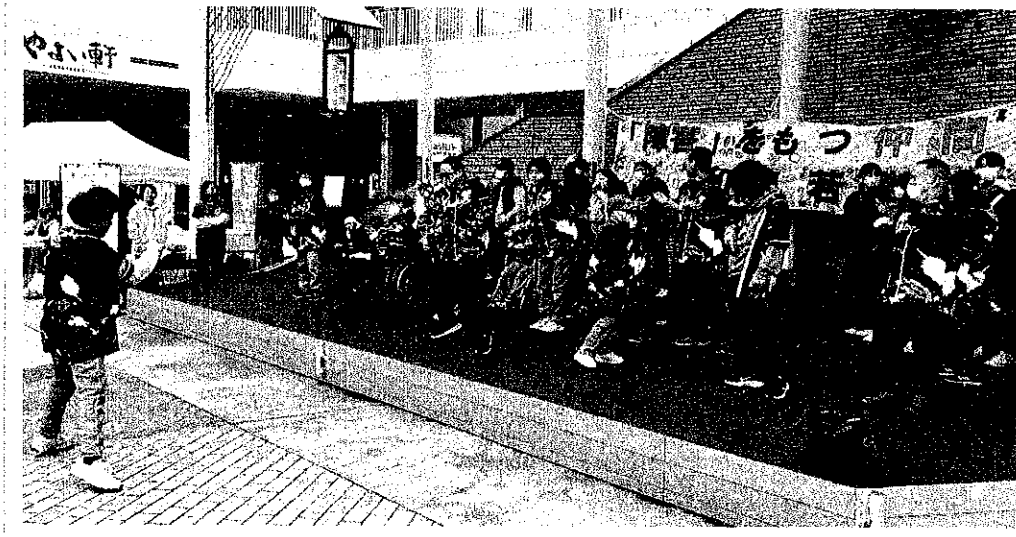
今までの若つどの歴史の中で、これらの目的や内容は、社会の状況や、子どもたちの現状をふまえて様々変化してきました。2020 年度、2021 年度はコロナ禍に関わらず、若つどの活動を止めることなく継続してきました。参加団体のみなさんに協力いただいた看板作成や、テーマソングの作成は集合開催に向けて道しるべとなりました。

そして、昨年度に引き続き今回もエコールいずみでの集合開催することができました。たくさんの学校、事業所、団体に参加していただき、和泉市で一体となり、障害のある子どもたちの進路について、ともに考える場になりますよう今後ともご協力よろしくお願いいたします。また、この間障害のある子どもたちだけでなく、外国にルーツのある子ども、学校に登校しにくい子どもなど、様々な背景のある子どもたちがいます。そういった子どもたちが多くの人とつながり、ともに進路を考える仲間となれる場でもありたいと考えています。

最後に、ここ数年、事務局での準備や当日の運営など人数の面でも、とりくみの広がりの方でも、大変きびしい状況が続いています。若つどを継続して開催していくためにも、事務局員として準備段階から関わっていただける仲間を探しています。みなさんの職場の仲間にもぜひお声がけ下さい。よろしくお願いいたします。

団体名【 第1ここの家 】

今年も和泉若者の集いイベントに参加しました！！



【ダンス発表】

今年も去年に引き続き若つどでのダンス発表に参加させていただきました。
発表では当日に向けて練習してきたゆずのイロトリドリを踊りました(*^^)
みんなやる気満々！元気いっぱいのダンスで会場を盛り上げてくれました！



さおり織りの様子



油すいとる君作成の様子

【自主製品販売】

ここの家の利用者さん一つ一つ織り上げた生地を使った『さをり織り』の製品
を販売しました♪くるみボタン、巾着ポーチ、油すいとる君は人気があり、
たくさん売れました。一般の方々もたくさん来場していただき大盛況でした！

団体名【 第2ここの家 】

第2ここの家

☆今年も若ものの集いに参加しました☆

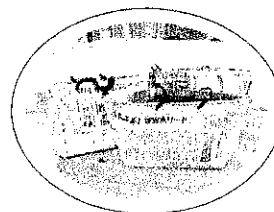


★焼き菓子の販売★



昨年以上に持って行ったお菓子でしたが地域の方々、利用者家族様、などなど
各関係者様にお越しいただき完売する事が出来ました(*^^*)

お買い上げいただいた方へここの家手作りの
新聞紙バッグをプレゼントしました!(^^)!



★ダンス発表★

- ・ここの家らしさ全開!
- ・元気で明るく!!
- ・笑顔いっぱい!!!



当日に向けてみんなで練習を行いました。久しぶりの大舞台ともあって練習段階から
笑顔が沢山見られました(^^)v

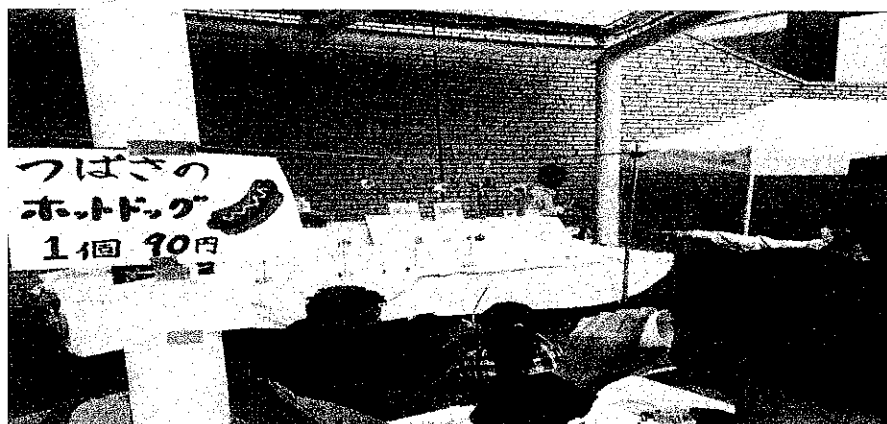
これからも
よろしくお願いします!
第2ここの家一同



団体名【 信太中学校つばさ学級 】

信太中学校つばさ学級

ホットドッグ屋さんとシューティング屋さん
をしました。



弓矢を作るのにいろいろ
試して何度もつくりなお
しました。

ホットドッグは売れるか
どうか不安もありました
が見事完売！

シューティング也大盛況
でした。



信太中学校

あすなろ・にほんご

販売・発表

がんばりました！

信太中学校あすなろ教室では、夏休みから「若つど」に出店しよう！と話し合いや準備を重ね、当日までがんばりました。

交流会や若つど当日は、たくさんの人と交流する機会がありました。チーム「にほんご」も一緒に協力しながら、大いそがしの1日を過ごしました。初対面の人と話をしたり、多くの人の前で発表した経験はとても貴重なものになったことと思います。

- 準備… 夏休みに集まり、フランクフルトとスモアの試作！ついでに手打ちうどんも作り楽しみました。
- 交流会… 突然の先生からの「出店の説明お願いします！」のむちゃ振りにも耐え、立派に発表！
- 若つど本番… 多くの人に来ていただき、お店は大いそがし！「世界のじゃんけん」「1円玉ゲーム」も会場の人たちにも参加いただき、立派に発表できました。

準備



交流会



本番

若つど感想

2回目の参加で今回食べ物の出店が氷お
ていけで以前より盛り上がり、大いに気がま
した。若つどというこのイベントをこれからも
続けていってほしいと思いました。

若つどたいへんかっただけで
楽しかったし、いろいろな人と
関わってよかったです。

初めての若つどで思った以上に大変
なだけ、色々な方としゃべって、
手話も少し覚えて、楽しかったです。
手話覚えるきっかけになりました。

「若つど」を終えて…

あすなろ教室では、日々いわゆる「別室」(適応指導教室と言います)で学校生活を送っていたり、にほんご教室を利用する生徒は国籍がちがったり、外国にルーツのある生徒が通っています。どうしても学校生活での経験が少ない彼らが、特に、3年生はこれから卒業、次の進路先での生活を考えたときに、「若つど」のような機会の中で初めての人と話をし、人前に立つ、という経験が大変貴重なように思います。彼らの卒業後の生活が少しでも豊かになるよう、これからの生活の中でも、度々「若つど」の話を思い返しながら自信をつけていってほしいな、と担当者は思っています。

信太中学校 生徒会

信太汁

いろいろな学校の人が交流が
出来たよ!!
と嬉しそう!!

たのしかった☆



手紙が、意外と簡単に読めました。

いかにしてリカいでした

いろいろな人がきてくれてくれた。
売るのも買うのも楽しかった!!

いろいろな人たちと交流ができたのだから

い、はい、売れてよかった
楽しかった。

信太中学校 ハンドメイド部

カラフルクレープ

手話で話しかけ
みんな笑顔で
聞いてくれたよ

接客も
するのは注文
もおぼえなくて
いけなくて
だま口でお
話と会話
ができて
たのしみ
でした



若っ子に参加
してくれた人との
交流をした。若っ子の
テーマソングを歌って手話
もしました。

クレープにチョコとか
かけて人にわたして
たくさん笑顔が見えた。

みんなが笑顔で
話しかけてくれたよ

団体名【 和泉市立光明台中学校 】

サッカーボウリング場 in 光明台

私たち光明台中学校であい学級は、生徒会と協力して『サッカーボウリング』をしました。遊びに来てくれたお客さんたちにボウリングを楽しんでもらい、倒れた本数に応じて景品となるミルクせんべいを作り提供しました。お客さんもたくさん遊びに来てくれ、小さなお客さんも「いっぱい倒れた～(^▽^)/」と喜んでくれたり、「前回よりたくさん倒すぞ!!」と何度もトライしてくれるお客さんもいたり多くの人に楽しんでもらえました。また、お店の運営に協力してくれたあい学級、生徒会の生徒たちも来てくれたお客さんの応援をしたり、お話しをしたりと前向きに取り組むことができました。

【若つどでの様子】



若つどに参加して【感想】

- ・ミルクせんべい作るのも、他の学校のブースをまわるのも楽しかった。来年も来たいなおもった。
- ・他校の出し物おいしかった!! (もちろんミルクせんべいも)
- ・友だちが来てくれて楽しかった。
- ・ちがう学校の子とかと交流ができて楽しかった。



『「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い』に参加して



ザ・イシオ・ドリフターズ



今年も生徒会本部役員を中心に「さつま汁」や「スイートポテト風おやつ」を作って販売し、舞台ではスマイル学級の先輩たちをリーダーに「いい湯だな」をみんなで歌って、とっても楽しい時間を過ごすことができました。

いいとこだ「若つど」は さよならするのはつらいけど ♪

時間だよ 仕方がない 次の「若つど」まで ごきげんよう! ♪

ババンバ バンバンバン ババンバ バンバンバン ♪



「若つど」に参加してみて、いろいろな方たちと会って、なかには障害を抱えている方もいて、その中でも小さい子がいて、私たちが舞台に立っている時、突然前に来てびっくりしたけど、楽しそうにしているすごく心があたたまりました。障がい者とか関係ない「若つど」を見てステキだなと感じました。

今回の「若つど」で障害のある人と支えあって楽しむことができたので、すごく良かったなと思います。今まで若つどのようなイベントが少なかったの、とても良い経験になりました。

最後の若つどのテーマソングをみんなで手話をしながら歌ったとき、みんなつながっているんだと感じて感動しました。



【Twinkle Workshop Izumi】として若つどに参加してきました!!

和泉中学校くすのき学級は、今年度も若つどに参加しました!今年度は、琥珀糖と組紐アクセサリーを作成し、販売しました。どちらの商品も、くすのき学級の生徒達で一生懸命作ったものだったので、完売することができて生徒達も嬉しそうでした!

作成時の様子



お菓子作りは分量を正確にすることが大切!!

火加減を見ながら慎重に混ぜます

琥珀糖は3年生が1・2年生に教えながら作成しました。



組紐作りに夢中になって取り組んでいました!

組紐は1・2年生を協力して完成させました。



ラッピングは1つ1つ手作業で!!

ラッピングは全学年で協力して完成させました。

当日の様子



完売できるように頑張るぞ~



たくさんの方が自分たちの作った琥珀糖や組紐アクセサリーを購入してくれて嬉しそうでした!!

参加した生徒の感想

- ・色々な食べ物を食べれて楽しかった。来年も食べ物を作って販売したい。(2年Hさん)
- ・楽しかった!来年も参加するときは、遊び系をやってみたい!!(2年Tさん)
- ・琥珀糖がいっぱい売れてよかったです。若つどをもう一回やりたいほど、楽しかったです。(3年Nさん)
- ・当日は用事で途中までしか参加できなかったけれど、いろいろな食べ物やゲームができて楽しかったです。(3年Hさん)

若つどテーマソング

作詞：第1ここの家のみなさん、第2ここの家のみなさん、池上小学校のみなさん
芦部小学校のみなさん、富秋中学校のみなさん、信太中学校のみなさん
作曲：梶原夏海さん（芦部小学校）
協力：横田京樹さん（DJ）

1 番歌詞

あたりまえだったこと
あたりまえではないと
気づくことができたんだ
感謝の気持ちあふれる

会えること遊ぶこと
学校へ行くこと
友だちの顔が見えること
あたりまえと想ってた

周りに流されてしまう自分
苦手なこと嫌いなこと
あきらめずに

笑顔の花咲く樹に
みんな集まって
ともに歩む仲間の輪を今
広げよう



←若つど
テーマソング
動画 QR コード

2 番歌詞

「ありがとう」「ごめんね」と
素直に伝えたい
誰にでもやさしくできる
人になりたいと思う

不安な気持ちになったときには
「大丈夫？」とみんなずっと
助け合っていこう

笑顔の花咲く樹に
みんな寄り添って
一人ひとりの幸せをほら
見つけよう

（手拍子）

うらうらうら・・・（サビのメロディで）

笑顔の花咲く樹に
みんな集まって
ともに歩む仲間の輪を今
広げよう

第 32 回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い 報告集

主催 第 32 回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い 実行委員会
後援 和泉市 和泉市教育委員会
発行 第 32 回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い 実行委員会

発行日 2024 年 3 月